

登録コード	E5001900	開講年度	2026				
授業科目	コミュニケーション論					担当教員	徳井 厚子
英文授業名	Communication Education					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・4時限	対象学生	全学年
講義室	教育N304講義室	授業形態	講義	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				コミュニケーション教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観を身につける		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				コミュニケーション教育の活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識、技能を身につける		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	コミュニケーション行動の機能や特徴を学び、その諸現象について理解を深めること。 自他のコミュニケーションについて振りかえり、コミュニケーション能力を高めること。 対人コミュニケーション行動が効果的にできない児童・生徒に対する理解を深め、適切な援助ができるようになること。 集団コミュニケーション行動について学び効果的にできるようになる方法を学ぶこと。同時に児童・生徒への援助もできるようになること。						
(5)授業計画	第1回 自己開示 第2回 非言語コミュニケーション 第3回 異文化接触とコミュニケーション 第4回 アサーション 第5回 傾聴 第6回 偏見とコミュニケーション 第7回 リスク時のコミュニケーション 第8回 オンラインのコミュニケーション 第9回 集団コミュニケーション概要 第10回 団コミュニケーション：ブレインストーミング型 第11回 問題解決とコンセンサス 第12回 リーダーシップ 第13回 対立処理 第14回 課題解決 第15回 まとめ 授業アンケート実施 定期試験は行なわない						
(6)成績評価の方法	小テスト・課題 100% ふりかえりシートも課題に加味する ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	(i)授業で学んだ各領域について重要ポイントを把握できる、(ii)それら重要ポイントの具体例を示すことができる、(iii)研究の課題を指摘できる、(iv)教育への応用を例示できる。これらすべてが十分に満たされれば「卓越している」、(i)～(iii)まで満たされていれば「かなり上にある」、(i)(ii)ならばやや上にある、(i)のみならば水準にある。						
(8)事前事後学習の内容	事前学習では、授業で指定した参考図書の該当箇所を読み、概要を把握、質問を用意すること。事後学習では、示された課題を中心に行うこと。						
(9)履修上の注意	どのコースの学生も歓迎する。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	他の学生のためにもなるのでできるだけ授業時間内に質問を受ける。 個人的相談はメールなどでアポイントの上面談に応じる。 徳井 tokuias@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	なし						
【参考文献】	宮原哲『新版 入門コミュニケーション論』松伯社 その他 必要に応じて指示する						